

音楽聴取が認知課題遂行に及ぼす影響

人間福祉学科 福祉心理系 豊岡楓華

音楽聴取が課題遂行にどのような影響を与えるのかについては、これまでいくつかの研究が行われてきたものの、結果は錯綜の様相を呈している。その理由として、実験毎に用いられる音楽や課題が異なること、課題遂行者の特性も関与すること等が挙げられている。よって本研究では、先行研究で促進の結果が見られていた音楽と課題を用い、音楽聴取による課題遂行への影響を、気分、テンポ、マインドワンダリングの観点から明らかにすることを目的とし、実験を行った。

実験の結果、まず、音楽聴取が設定した心的回転課題の遂行には影響を与えないこと、また、音楽聴取はマインドワンダリングの生起とも関連しないことが示された。ただし、補足的分析では、音楽聴取によってネガティブな気分が低減した参加者において、課題のエラー率が低減する傾向が示された。

全体としては、先行研究とは異なり、音楽聴取が課題遂行に影響を及ぼすという明確な証拠は得られなかった。しかし、本実験では先行研究で指摘されている課題遂行者の特性については十分な検討ができなかった。したがって、今後は課題遂行者の特性も要因に加えて検証する必要があるといえる。